

令和3年度取組結果及び令和4年度取組計画

雄物川水系

・秋田市	1
・横手市	6
・湯沢市	10
・大仙市	14
・仙北市	18
・美郷町	21
・羽後町	23
・東成瀬村	25
・東北農政局	27
・東北運輸局	29
・秋田地方気象台	30
・東日本旅客鉄道(株)	33
・東北電力(株)	35
・秋田県	37
・東北地方整備局	50

馬場目川水系

参考資料

・国が行う洪水予報の運用変更	69
・防災気象情報の改善点等	74

■ハード対策

（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

- ⇒ 普通河川古川流域において、排水機場整備に関する設計業務委託等の実施
- ⇒ 古川流域に河川カメラと道路冠水センサーを設置

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ 秋田市業務継続計画（BCP）の運用



古川河川カメラの映像（小股尻橋）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ オンラインによる雄物川危機管理演習（R3.11.26）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 雄和小中学校防災研修会（R3.8.24）、豊岩中学校防災研修会（R3.7.15）、市内小中学校の防災担当者に対しハザードマップ等による防災研修（R3.7.7）を実施
- ・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒ 要配慮利用施設への避難確保計画の作成支援



雄物川危機管理演習

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ 防災FMラジオを自主防災組織等へ貸与
 - ⇒ 秋田市の防災情報をFM秋田「秋田市防災Navi」により放送
 - ⇒ 防災ネットあきたによる災害情報の提供（電話、FAXでも提供）
 - ⇒ ホームページ、ツイッターで災害情報の提供
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるとまちごとハザードマップの推進
 - ⇒ 想定最大規模の浸水想定によるハザードマップおよび水害対策ガイドブックの作成



防災ラジオ



水害対策ガイドマップ 水害ハザードマップ

■ソフト対策【ねばる】^② 氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

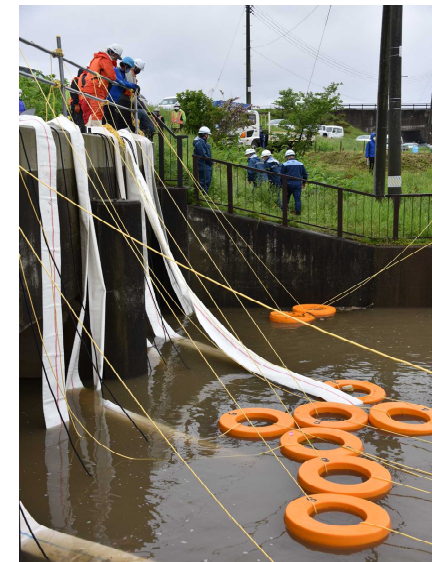
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒適切に在庫管理

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 災害対策用排水ポンプ車による排水訓練の実施



ポンプ車による排水作業



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 古川流域の排水機場整備に関する詳細設計業務委託等を実施

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・ タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
⇒ 各種防災訓練の実施
- ・ 水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒ 町内会・自主防災組織等の避難訓練の実施、自主防災リーダー研修会の実施
- ・ 水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒ 学校関係者を対象にした防災教育の実施
- ・ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
⇒ 要配慮利用施設への避難確保計画の作成支援

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒ マイタイムラインの自主防災組織等への周知・啓発
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ ラジオ等による秋田市防災情報の継続的な発信
⇒ 防災ネットあきたへの登録推進
- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進
⇒ ハザードマップおよび水害対策ガイドブックを全戸配布、説明会の実施（町内会連合会、自主防災組織等）



小中学校防災担当者に対する研修会



自主防災リーダー研修会

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所での合同巡視
⇒国や関係機関等とのパトロールの実施
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒必要資材の拡充

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒水防訓練の実施
- ⇒災害対策用排水ポンプ車による排水訓練の実施



水防訓練



ポンプ車による排水訓練

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ 本庁地下駐車場入り口に「**止水版**」配備
- 横手市業務継続計画（BCP）の運用

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水防講習会の開催

- ⇒ 6月5日（土）「**水防講習会**」実施（分散開催）
 - ◇感染症対策に配慮し、**8支団が5カ所の消防署、各消防分署に分散し**、基本結索、土嚢作成、改良シート張り工法、応急シート張り工法を実施

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

- ⇒ 市内中学校における**防災マップ作り授業**の実施（中学校1校）
 - ◇教育委員会が主体となり、特定非営利活動法人秋田県防災士会と連携
- ⇒ 市内学校における**防災講話**の実施（12校）

・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練の促進

- ⇒ 雄物川浸水エリアの精査により、**対象施設が増加**（R1:6施設⇒R2:38施設）
 - ◇年度末までに38施設全ての施設で**避難確保計画作成完了**



本庁地下駐車場入り口への「止水板」設置状況



水防講習会(6/5 5カ所で分散開催)

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災行政無線、防災ラジオ、安全安心メール、エリアメール、

横手市公式LINE・ツイッター・フェイスブック、よこてれび(サマルレビ)の活用

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知

⇒ハザードマップの周知普及

防災講話の開催（16回656人参加）

コミュニティFMを活用した周知（全4回）

Web版ハザードマップ作成・公開（想定最大規模）

◇携帯端末の位置情報から現在地の災害危険個所の確認可能



防災講話(9/15 仲町いきいきサロン)

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・重要水防箇所の合同巡視

⇒5月28日(金) 湯沢河川国道事務所、横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

⇒7月8日(木) 平鹿地域振興局、横手市、横手市消防本部参加



重要水防箇所合同巡視(5/28 雄物川上流)

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 横手市業務継続計画（BCP）の改定と運用（継続）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・**水害リスクの高い地域における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施**

⇒ 6月5日（日）**横手市土砂災害訓練**を実施（継続）

◇市、県、警察、消防、消防団が連携し、大雨に伴う土砂災害を想定し、対象地域住民の避難行動を含む実践的な総合訓練を実施

⇒ 8月28日（日）**横手市総合防災訓練**を実施予定（継続）

◇関係機関、災害時応援協定締結事業所との連携を予定

・**水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施**

⇒ 市内小中学校における**防災講話**の実施（継続）

・**要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進**

⇒ **避難確保計画のバージョンアップと避難訓練**の実施促進（継続）

◇チェックリストによる計画の見直しと避難訓練実施の促進

雄物川浸水エリア 計画作成:38施設（100%）、訓練実施:35施設（92%）

横手川浸水エリア 計画作成:64施設（100%）、訓練実施:57施設（89%）



土砂災害訓練(6/5 雄物川町 二井山地区)



要配慮者利用施設(相愛こども園)における洪水時避難体験

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ ウェブサイトを活用した**新たなハザードマップの周知**（継続）

◇携帯端末の位置情報から現在地の災害危険個所の確認可能

◇避難所開設情報や通行止め情報をリアルタイムで掲載可能

⇒ **防災ラジオ難聴対策**の実施（継続）

◇難視聴地域における個別アンテナの設置

⇒ **防災情報発信の多重化**（継続）

◇安全安心メール（登録制）情報の市ホームページへの自動転送

◇安全安心メール情報の市民向け情報アプリ（MINEBA）でのプッシュ通知



個別アンテナの設置



市民向け情報アプリ

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 横手市消防団における**支団単位での水防講習会の開催**（6月4日・5日）（継続）

◇基本結索、土嚢作成、改良積土嚢工法、応急シート張り工法

・重要水防箇所の合同巡視（継続）

⇒ 5月27日（金）湯沢河川国道事務所、横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

⇒ 7月7日（木）平鹿地域振興局、横手市、横手市消防本部参加



水防講習会（改良積土嚢工法、基本結索）

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 湯沢市業務継続計画（BCP）の運用

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒重点事業として継続して推進

⇒県主催による「自主防災組織育成指導者研修会」を湯沢市で実施。

・地域の防災力向上に向けた施策の実施

⇒湯沢市防災士の会における研修会の開催等による地域防災リーダーの育成

・リアリティのある防災訓練の実施

⇒大規模災害を想定した図上訓練の実施（令和4年1月14日実施）

・水害リスクの高い区間における避難訓練の実施

⇒湯沢市水害避難訓練の実施（令和3年5月26日実施）

・水害リスクを共有するための防災教育の実施

⇒水害リスクの高い地域への出前講座を実施

・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の促進

⇒避難確保計画の実効性をより高めるための計画修正等の支援を継続して実施



「湯沢市防災士の会」研修会（避難所開設運営）



自主防災組織育成指導者研修会

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 ⇨防災士の会研修会及び自主防災組織育成指導研修等の場を活用した、マイ・タイムライン作成講習の開催
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の整備 防災行政無線施設（操作卓）
 ⇨防災行政無線の効果的な運用
 ⇨自主防災組織の代表宅に対する防災行政無線戸別受信機の設置
 ⇨防災行政無線を補完するシステムの充実（防災行政無線専用LINEを新たに追加）
 ⇨緊急・防災メールの登録促進、SNS等による情報発信の充実
- ・想定最大規模の洪水における避難計画を考慮した防災マップの周知・活用
 ⇨湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた教育の実施



マイ・タイムライン作成講習

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団相互の連絡体制の再確認の実施
 ⇨令和3年6月1日～30日 湯沢雄勝地区水防訓練を実施
 ロープワーク・水防工法DVDを活用した自宅等における各個訓練を実施
- ・重要水防箇所の合同巡視
 ⇨5月18日 重要水防箇所合同巡視
 ⇨6月7日 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視



重要水防箇所合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒湯沢市業務継続計画（BCP）の運用

■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒重点事業として継続して推進

・地域の防災力向上に向けた施策の実施

⇒湯沢市防災士の会における研修会の実施（昨年度に引き続き月1回の開催を予定）

⇒自主防災組織における地区防災計画の策定協議会の推進

・リアリティのある防災訓練の実施

⇒土砂災害訓練の実施（6月15日実施）

⇒要援護者支援プランを活用した実践的な住民避難訓練（10月～11月頃予定）

⇒大規模災害を想定した図上訓練の実施（11月頃予定）

・水害リスクの高い区間における避難訓練の実施

⇒湯沢市水害避難訓練の実施（5月26日実施）

・水害リスクを共有するための防災教育の実施

⇒出前講座等による防災講話を継続して実施

・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の促進

⇒避難確保計画の実効性をより高めるための計画修正等の支援を継続実施



湯沢市水害避難訓練



高等学校・地域住民
に対する水害をテーマとした防災講話



■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

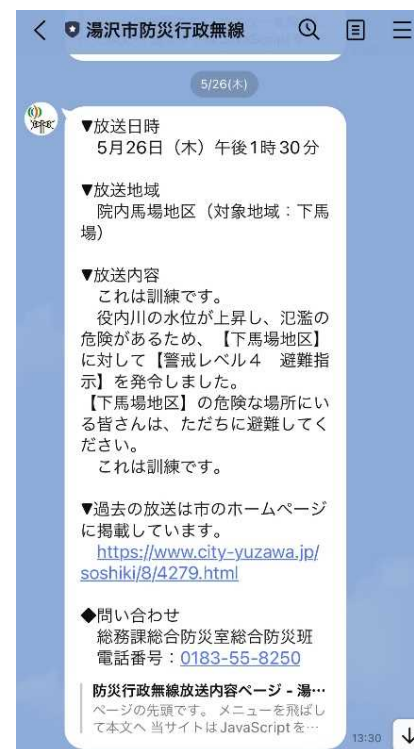
○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイ・タイムラインの作成
 ⇨市民への周知徹底とタイムラインの見直し（継続実施）
 ⇨出前講座等の場を活用したマイ・タイムライン講習会による作成支援
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充
 ⇨防災行政無線とスマートフォンの連携等、更なる効果的な運用の調査・検討
- ・想定最大規模の洪水における避難計画を考慮した防災マップの周知・活用
 ⇨湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた教育の実施（継続実施）

■ソフト対策【ねばる】②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 ⇨継続して連携
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 ⇨湯沢雄勝地区水防訓練（5月29日 湯沢市河川敷運動広場 松ノ木グラウンド）
 （シート張り工法、月の輪工法、ロープワーク等の訓練）
- ・重要水防箇所の点検
 ⇨5月27日 重要水防箇所合同巡視
 6月17日 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視
- ・水防資機材の保有状況の確認
 ⇨継続実施



防災行政無線公式LINEによる
放送内容の配信



湯沢雄勝地区水防訓練

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒排水ポンプ車（60t/分）配備（令和3年7月14日納車）
- ⇒常設排水ポンプ3箇所（18t/分×5台）設置
- ⇒可搬式排水ポンプ4インチ2台の購入（仙北地域）

【参考：氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策】

- ⇒田んぼダム実施に向け農家・農業団体への説明会を実施（21団体）
- 【実施箇所】大曲地域、中仙地域、仙北地域、太田地域（117.4ha）



排水ポンプ車（60 t/分）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒国交省と連携した「洪水対応演習」の実施(令和3年6月4日)
 - ⇒避難所開設を想定し、協和中学校で避難所開設訓練を実施
(令和3年9月30日「生き抜く力事業」防災教育)
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒市職員を対象とした災害対応研修（令和3年8月3日）
 - ⇒防災講話と避難所開設研修を大曲工業高校で実施（令和3年8月30日）
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒避難訓練実施の呼び掛けと実施報告書の提出



避難所開設訓練（令和3年9月30日）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 ⇒ 自主防災組織毎に「**地区防災マップ・マイタイムライン**」の作成促進
 （平成30年～令和3年度末まで 45組織作成）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充
 ⇒ 防災ラジオ、防災メール、yahoo防災、Twitter、Line、各種SNSを用いた情報伝達手段の多重化
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
 ⇒ **ハザードマップ作成・全戸配布の実施、web版ハザードマップの公開**
 （令和4年3月）



ハザードマップの更新

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所への合同巡視
 ⇒ 国、県との**河川合同巡視**に参加（国：令和3年5月27日、県：令和3年7月7日）



県との河川合同巡視（令和3年7月7日）

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒可搬式排水ポンプ4インチ4台の購入（南外地域・仙北地域・太田地域）

【参考：氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策】

⇒**田んぼダム実施**に向け**農家・農業団体への説明会**を実施中（継続）

【説明会実施済】大曲地域、協和地域、中仙地域、仙北地域、太田地域
 （令和4年度実施予定面積 1,457.3ha）



田んぼダムの推進

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・他機関連携型タイムラインの充実

⇒国交省と連携した「**洪水対応演習**」の実施（令和4年5月13日）（継続）

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒中学校等における**避難所開設訓練**などを実施（継続）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒新規開設施設への**避難確保計画作成と避難訓練**の実施を促進（継続）



避難所開設訓練

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
 - ⇒ 自主防災組織へ「**地区防災マップ・マイタイムライン**」の**作成促進**（継続）
 - ⇒ 想定浸水深の標識を設置する「**まるごとまちごとハザードマップ**」の取組（刈和野地区）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ 防災メール、携帯アプリ、各種SNS、防災ラジオ等を活用した**情報伝達手段の多重化**
 - ⇒ **WEB版ハザードマップ**を活用した情報提供（水位、通行止め等）



水防講習会（令和4年6月5日）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒ 国との重要水防箇所の合同巡視（令和4年5月25日）
 - ⇒ 県との重要水防箇所の合同巡視（7月開催）
- ・水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 水防講習会の実施（**土のう作成**）（令和4年6月5日）

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ 県との**合同排水ポンプ車操作訓練**（令和4年5月10日）



排水ポンプ車操作訓練（令和4年5月10日）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 角館庁舎を整備し、自家発電も設置した。

【参考：氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策】

⇒ 田んぼダムへ協力して頂くため、市民の方へ周知した。

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 自主防災組織と連携し訓練や啓発活動を実施した。

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内の小中学校で防災教育の実施や過去に発生した土石流現場で総合的な防災教育を実施。

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ **避難訓練を毎年実施するよう周知する**

・地域包括支援センター等との連携

⇒ 災害時における介護事業所と市役所の情報共有方法を打ち合わせしている。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ **音声応答システム（テレドーム）を導入した。**

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・水防資機材の保有状況の確認

⇒ 出水期前に保有状況を確認した。

市内の小中学校で防災教育を実施した



音声応答システム（テレドーム）



■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・ 水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 ⇨ **自主防災組織と連携し訓練をした。**
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 ⇨ **各施設と連携し、適切指導助言をした。**
- ・ 地域包括支援センター等との連携
 ⇨ **災害時における介護事業所や社会福祉協議会と市役所の情報共有方法を打ち合わせした。**
仙北市社会福祉協議会と災害ボランティアセンター設置運営に関する協定を締結した。

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 ⇨ **出水期前に資機材を確認した。**

仙北市社協との協定締結



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

【参考：氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策】

⇒ 田んぼダムへ協力して頂くため、市民の方へ周知する。

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・ 水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒ **自主防災組織と連携し訓練を実施する。**
- ・ 水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒ **市内の小中学校で訓練など、防災教育を実施する。**
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
⇒ **各施設と連携し、適切指導助言をする。**
- ・ 地域包括支援センター等との連携
⇒ **災害時における介護事業所や社会福祉協議会と市役所の情報共有方法を打ち合わせする**

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 水防資機材の保有状況の確認
⇒ **出水期前に資機材を確認する。**

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒県振興局と危険箇所の合同点検を実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用



■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒県振興局と危険箇所の合同点検を実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ及び防災メールの運用

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるとまちごとハザードマップの推進

⇒農業用ため池が破堤した際の浸水想定区域を追加・その他防災情報の加除修正・Web版ハザードマップの新規作成

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒大曲仙北広域市町村圏組合消防と連携し、水防訓練を実施。

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認

■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画 (BCP) の運用およびこれに基づく施設点検・保守

元西赤沢地区でのため池防災訓練



■ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い地域における地域住民が参加する防災活動

⇒ 令和3年10月 赤沢地区にてため池防災訓練実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・要配慮者利用施設の避難計画策定支援・訓練促進

⇒ 令和4年3月 浸水・土砂災害想定区域内の全施設策定完了

雄物川重要水防箇所の合同点検



■ソフト対策 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・重要水防箇所の合同巡視

⇒ 令和3年5月 雄物川重要水防箇所の合同点検に参加

・水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 令和3年6月 水防講習を実施 (感染症対策のため水防団個別・少人数にて実施)

水防講習でのロープワーク演習



■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画（BCP）の運用およびこれに基づく施設点検・保守

■ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充

⇒ 令和5年度からの防災ラジオ全戸・全事業所配備に向け準備

・要配慮者利用施設の訓練促進・体制整備支援

⇒ 訓練実施への支援や意見交換を随時実施

■ソフト対策 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・重要水防箇所の合同巡視

⇒ 5月27日 直轄河川の重要水防箇所合同点検に参加

・関係機関が連携した水防訓練、水防体制の再確認の実施

⇒ 5月29日 湯沢市・東成瀬村との合同水防訓練を実施

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 継続実施

防災ラジオ



水防訓練



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **東成瀬村業務継続計画の運用**

■ソフト対策【動かす】

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒ **気象防災ワークショップへの参加を実施**

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ **該当施設に対し、避難計画の作成と訓練を周知**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ **防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備をR4年度継続**

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **水防訓練開催中止**

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 東成瀬村業務継続計画の運用

■ソフト対策【動かす】

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒ 気象防災ワークショップへの参加

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 総合防災訓練の実施

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 該当施設に対し、避難計画の作成と訓練の実施を呼びかける

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 水防訓練の参加

・重要水防箇所合同巡視

⇒ 秋田県・東成瀬分署ほか河川等の合同巡視を実施

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
- ⇒ 気象情報に注視し、農業用利水ダムの事前放流の体制作りを行った。結果、大きな洪水は発生せず、また、かんがい期間中からダム貯水に空容量があり、事前放流は行っていない。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
 - ⇒ 気象情報に注視し、農業用利水ダムの事前放流の体制作りを行う。
 - ⇒ 「雄物川水系治水協定」に基づく事前放流の機能強化を図るため、相野々ダムの有効貯水量を利水に影響を及ぼさない範囲で洪水調節に最大限活用できるよう「簡易流入量予測システム※」の検討を行う。

※「簡易流入量予測システム」とは、気象庁の予測降雨量システム（GSM、MSM）で示される予測降雨日時、予測降雨量及びダム管理所で観測しているダム諸量等必要データを手入力することにより、ダム地点における時間雨量、累加雨量、流入量、貯水位、放流量の予測を示すシステム。これにより、ダム流入量のピーク時刻及びピーク流入量を予測（把握）し、ダム管理者の事前放流の開始及び中止の判断検討をサポートするものである。



〔写真 相野々ダム〕

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒東北運輸局ツイッター（mlit_tohokuunyu）による災害時等の公共交通機関の運行状況の発信・リツイートなど有効的な活用方法や、他機関との連携のあり方について検討を続ける。

○東北運輸局ホームページに見易く「災害・防災情報」と「公共交通機関運行情報」のリンクを配置済み。



The screenshot shows the homepage of the Tohoku Railway Bureau. Two yellow callout boxes highlight specific links:

- Left callout: 国土交通省本省へのリンク (Link to the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport)
- Right callout: 各鉄道会社のホームページへ (To the homepage of each railway company)

The page layout includes sections for disaster information, public transport status, and various service categories like rail, bus, and maritime.

○必要に応じて被災した鉄道施設の現地確認。 ○必要に応じて鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議を開催する。



被災施設の確認

鉄道等の災害復旧に係る連絡調整会議の様相

東北運輸局ホームページ
<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/>

公共交通機関運行情報（東北運輸局HP）
<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/sm/unkoujohou.html>

防災ポータル（国土交通省HP）
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>

参考



■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・多機関連携型タイムラインの充実
- ⇒秋田県と連携し地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催。
各自治体で防災対応の疑似体験していただいた。
 - ・2021年7月6日 秋田県庁にて16市町6地域振興局39名が参加。（土砂災害編）
 - ・2021年11月17日 秋田県庁にて16市町6地域振興局36名が参加。（暴風雪大雪編）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
- ⇒秋田県教育委員会が計画する「学校安全外部指導者派遣事業」に協力し、県内の幼稚園、保育園から高校までの教育施設において、講義や防災紙芝居による防災教育を6の教育施設で実施。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）
- ⇒防災気象情報に関しては、出前講座等で機会あるごとに解説を行い利活用促進に努めている。また、大雨・洪水の注意報、警報基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行った。

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒災害発生時は、後日各市町村防災担当者に対応についての振り返りを行っている。



学校安全外部指導者派遣事業



気象防災ワークショップ

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・多機関連携型タイムラインの充実

⇒本年度も各機関で防災訓練等の実施の際は是非参加・協力させて頂きたい。

地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」をリモート環境での開催を検討している。

また、複数の地域振興局から講師派遣の依頼を受け、ワークショップ形式で行うことを予定している。

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒本年度も秋田県教育委員会が計画する「学校安全外部指導者派遣事業」に協力し、リモート環境での開催を含め実施予定。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒本年度も防災気象情報は機会あるごとに解説を行い利活用促進に努める。また、大雨・洪水の注意報、警報の発表基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行う。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒県内各市町村を訪問し防災担当者との情報交換を行うと共に、災害発生時は、後日防災担当者との対応についての振り返りを行う。

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進
- ⇒2019年台風19号による北陸新幹線の浸水を受けて、最新のハザードマップを基に、関係する現業機関において避難マニュアルを作成
- ⇒想定最大規模の洪水を考慮したハザードマップを基に、浸水が予想される車両を安全な場所へ疎開させるマニュアルを作成、机上訓練を実施
- ⇒最新のハザードマップを年に1回確認し、それを基に、関係する現業機関において避難マニュアルの見直し、修正を図った。
- ⇒想定最大規模の洪水を考慮したハザードマップを年に1回確認しマニュアルの見直し修正を図る。また、浸水が予想される車両を安全な場所へ疎開させる実車訓練を行った（車両疎開訓練）。

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
- ⇒秋田県及び青森県の総合防災課とのホットラインを構築した。

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進
- ⇒最新のハザードマップを年に1回確認し、それを基に、関係する現業機関において避難マニュアルの見直し、修正を図る。【継続】
- ⇒想定最大規模の洪水を考慮したハザードマップを年に1回確認しマニュアルの見直し修正を図る。【継続】

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報を活用するシステム構築に参加し、事前放流の体制作りを行った。**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報を活用するシステム構築に参加し、事前放流の体制作りを行う。**

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） **河道掘削 雄物川水系 県管理河川（継続実施）**

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。

■ 淀川 大仙市協和境地区 河道掘削、伐木


対策後


■ 上法寺川 横手市雄物川町大沢地区 河道掘削、伐木


対策後



国・県・市町村

■ハード対策 【参考資料】 田んぼダムの推進について

○洪水氾濫を軽減するためのハード対策（水田貯留）継続実施

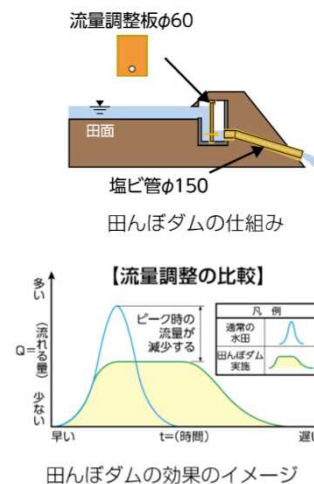
近年、県内外において集中豪雨等による災害が頻発化していることから、流域治水対策の一つとして「田んぼダム」の取組が注目されています。本県では、これまで水田の多面的機能維持の活動として、数地域において田んぼダムの取組が行われてきましたが、今後の更なる普及・拡大に向けて、モデル地区を設置し、田んぼダムの効果や課題等の検証を開始しました。



豪雨による農地や住宅地の被害
(大仙市 R2)

(1) 実証モデル地区の設置

県内のほ場整備実施中の10地区において、流量調整板等を用いた従来型田んぼダムの実証田を設置し、効果や課題等を検証しています。また、実証モデル地区のうち、大仙美郷地域において、従来型田んぼダムに加え、自動給排水システムを用いたスマート田んぼダムの実証田を設置し、雨水貯留効果を比較・検証するほか、水稻の生育・収量調査等を行い、営農への影響についても確認しています。



(2) 田んぼダムの普及・拡大に向けた取組

県では、田んぼダム実証モデル地区の関係者が取組状況や効果・課題等について話し合う意見交換会を開催しています。出席者からは、「田んぼダムによる一時貯留の効果を確認できた」との意見や「貯水により畦畔の一部が崩れた」などの課題が挙げられました。

また、実証状況や取組農家の声などを掲載した「田んぼダム通信」を発行しています。田んぼダムの取組には、農家の合意形成が不可欠であることから、県では引き続き、効果や課題を調査するとともに、河川管理者や市町村、土地改良区等との連携のもと、調査結果や先進事例、支援措置などを紹介し、農家の理解を得ながら、田んぼダムの普及に努めています。

スマート田んぼダム実証事業全体会議の開催

田んぼダム通信

■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 危機管理型水位計の運用 (R3年2月から運用開始)

- ・きめ細やかな水位把握が必要な河川へ設置し、洪水時における市町村の避難勧告等の発令や地域住民の適時的確な避難に役立つ水位情報提供の充実を図る。
- ・データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



【猿田川】秋田市牛島西 (開中道二号橋)

県管理河川振興局別
危機管理型水位計設置数

秋田県

振興局	河川数	設置基数
鹿角	15	21
北秋田	32	40
山本	13	14
秋田	27	37
由利	15	18
仙北	22	25
平鹿	8	8
雄勝	22	25
重複河川控除	-5	
計	149	188

秋田県河川砂防情報システム

雨量観測情報

状況図

現況表

一括表選択

一覧表選択

水位観測情報

状況図

現況表

一括表選択

一覧表選択

河川カメラ

地域別記

知りたい情報を選地域に絞り込まれ

雨量情報

水

秋田県 河川砂防情報システム

TOP データ種別 | 雨量 | 水 | 危機管理型水位計 | 河川カメラ | ダム |

表示形式 | 状況図 | 現況表 | 一括表 | 一覧表

メニュー
 ・全域観測情報【状況図】
 ・全域観測情報【現況表】
 ・洪水予報発表情報
 ・水防情報・水位到達情報

★リンク
 秋田県
 ・秋田県
 ・河川砂防課

県内の他ダム
 ・玉川ダム

その他
 ・財団法人日本ダム協会

危機管理型水位状況図 (全県) 2021年06月22日 16時50分 現在
 アイコンをクリックするとグラフを表示します。

水位局表示

凡例(危機管理型水位計局)
 ▲ 氾濫開始水位超過
 ▲ 危険水位超過
 ▲ 観測開始水位超過
 ▲ 観測開始水位未滿
 ▲ 欠測/無効

凡例(水位局)
 ■ 氾濫発生
 ■ 氾濫危険水位超過
 ■ 避難判断水位超過
 ■ 氾濫注意水位超過
 ■ 水防団待機水位超過
 ■ 通常
 ■ 欠測/無効

↑ 上昇中
 → 変化なし
 ↓ 下降中

危機管理型水位グラフ

観測局情報
 雨量局 観測所名 秋田地域振興局 市町村名 秋田市
 水位局 観測所名 開中道二号橋(河川護岸) 河川名 猿田川
 市町村名 秋田市 管轄 秋田地域振興局

凡例
 ■ 時間雨量[mm]
 ■ 累加雨量[mm]
 ■ 時間雨量注意値 (30mm)
 ■ 時間雨量警戒値 (50mm)
 ■ 累加雨量注意値 (60mm)
 ■ 累加雨量警戒値 (80mm)
 ■ 水位[m]
 ■ 氾濫開始水位(0.00m)
 ■ 危険水位(-2.02m)
 ■ 観測開始水位(-3.02m)

現在、観測開始水位以下です。

観測データ (05/17 01:00-05/17 24:00)

月/日	05/17											
時:分	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00
時間	3.0	4.0	3.0	10.0	11.0	7.0	5.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累加	31.0	35.0	38.0	48.0	59.0	66.0	71.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0
水位					-2.92	-2.70	-2.53	-2.48	-2.48	-2.48	-2.51	-2.57

月/日	05/17											
時:分	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累加	72.0	72.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水位	-2.66	-2.76	-2.87	-2.97								---

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易型カメラ等の基盤整備

⇒ 簡易型河川監視カメラの運用（R2年4月から運用開始）

・リアリティーのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適時的確な避難判断、避難行動を促す。

・カメラの画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



県管理河川振興局別
簡易型河川監視カメラ設置数

秋田県

振興局	河川数	設置基数
鹿角	5	6
北秋田	8	8
山本	3	4
秋田	9	9
由利	4	8
仙北	10	14
平鹿	2	4
雄勝	2	3
重複河川控除	-1	
計	42	56

河川カメラ一覧 2021年06月22日 16時50分 現在
カメラ画像をクリックすると河川カメラ履歴を表示します。

雄勝地域振興局

役内川 橋廻 (湯沢市)	役内川 湯ノ岱 (湯沢市)	雄物川 下院内 (湯沢市)
日時: 06/22 16:50	日時: 06/20 24:00	日時: 02/20 09:40
水位: ↓ -0.32[m]	水位: —[m]	水位: —[m]
警報状態: 通常	警報状態: 観測開始水位未滿	警報状態: 欠測

平鹿地域振興局

橋手川 上の橋 (橋手市)	橋手川 寺村 (橋手市)	橋手川 朝倉 (橋手市)	上清川 町田 (橋手市)
日時: 06/22 16:40	日時: 06/22 16:50	日時: 06/22 16:50	日時: 06/22 16:50
水位: → 0.04[m]	水位: ↑ -1.02[m]	水位: → -0.19[m]	水位: ↑ 1.16[m]
警報状態: 通常	警報状態: 通常	警報状態: 通常	警報状態: 通常

警報・注意報概況

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）継続実施

- ・秋田湾・雄物川流域下水道（臨海処理区）耐水化計画に基づき、過去に浸水被害を受けた流域下水道幹線マンホールポンプ場のレジリエンス向上のため、動力制御盤などの高所移設を検討



浸水状況（仁助中継ポンプ場）



浸水状況（平沢中継ポンプ場）

- ・秋田湾・雄物川流域下水道（大曲処理区）耐水化計画に基づき、終末処理場である大曲処理センターの冠水時においても、汚水処理機能を確認するための詳細設計を実施



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組 (継続実施)

- 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ 平成27年の水防法の改正に伴い、これまでの洪水浸水想定区域を見直し、秋田県美の国ネットにてデータを公表。
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10574>

令和3年度の取組：浸水想定図公表：3河川 水位周知河川指定：3河川 (犀川,白雪川,入見内川)

令和4年度の取組：浸水想定図公表：3河川 水位周知河川指定：3河川 (檜山川,上溝川,雄物川(指定区間))



河川砂防課

- 平成30年5月豪雨により大きな被害を受けた馬踏川の緊急的な治水対策工事が完了しました。 [2020年04月20日]
- ダムカード配布の一時休止のお知らせ [2020年03月02日]
- 平成29年7月豪雨により大きな被害を受けた淀川等の県管理河川において緊急的な治水対策を実施します [2017年12月01日]
- 河川砂防課の業務案内 [2016年02月10日]

河川砂防課からのお知らせ

- 簡易型河川監視カメラの運用を開始します [2020年04月24日]
- 平成30年5月豪雨により大きな被害を受けた馬踏川の緊急的な治水対策工事が完了しました。 [2020年04月20日]
- 危機管理型水位計の運用を開始します [2019年03月29日]
- 平成29年7月豪雨により大きな被害を受けた淀川等の県管理河川において緊急的な治水対策を実施します [2017年12月01日]
- 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会を開催しました [2017年03月21日]

「河川」に関すること

- 【想定最大規模による】県管理河川の洪水浸水想定区域図について [2020年04月28日]** **クリック**
- 秋田の当面の水害・土砂災害対策 [2016年03月09日]

「海岸」に関すること

- 秋田沿岸の津波浸水想定の設定について [2016年04月04日]
- 秋田県沿岸における設計津波の水位の設定について [2016年03月09日]
- 海岸協力団体を募集します [2014年09月24日]
- 海岸に漂着したボリ容器に注意願います。 [2012年02月23日]
- 私たちの海が危ないです！ [2010年03月09日]



【想定最大規模による】県管理河川の洪水浸水想定区域図について

2020年04月28日 | コンテンツ番号 10574

近年、全国的に豪雨による洪水被害が頻発しており、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して甚大な被害が発生する事象も増えています。秋田県においては、平成29年7月、翌平成30年5月の豪雨による洪水被害が記憶に新しいところです。

このような洪水時における人的被害を防ぐため、県民の皆様には普段より水害リスクを認識し、洪水時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を知っていただくことが何より重要であるため、洪水被害が予想される市町村では、洪水ハザードマップを作成し配布しております。

秋田県では、平成27年の水防法の改正に伴い、洪水ハザードマップの基礎となっていた洪水浸水想定区域の見直しを進めており、今回の見直しでは、想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定し、公表することとしています。

ここでは、秋田県が指定した対象河川における洪水浸水想定区域図等を公表していますので、自らの避難行動に役立てください。

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域等

河川名	図面名	指定・公表年月日	関係市町村
旭川	洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) [PDF/6009KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間) [PDF/6080KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流) [PDF/6079KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (河岸浸食) [PDF/6076KB]		
太平川	洪水浸水想定区域図 (計画規模) [PDF/5811KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) [PDF/6032KB]		
	洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間) [PDF/6066KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流) [PDF/6090KB]		
旭川	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (河岸浸食) [PDF/6088KB]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図 (計画規模) [PDF/6087KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流) [PDF/6090KB]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図 (河岸浸食) [PDF/6088KB]		

県管理「河川最大規模浸水想定区域」公表状況 (令和3年度末現在)

NO	河川名	管内	市町村	浸华图作成	告示 (R3迄)	告示 (R4以降)	HM作成	備考
1	米代川	鹿角	鹿角市	○	R1. 12. 24		R3	
	米代川	北秋田	大館市				R1	
2	小坂川	鹿角	鹿角市	○	R2. 4. 28		R3	
	小坂川	鹿角	小坂町				R3	
3	大湯川	鹿角	鹿角市	○	R2. 4. 28		R3	
4	福土川	鹿角	鹿角市	○	R2. 2. 10		R3	
5	能沢川	鹿角	鹿角市	○	R2. 6. 5		R3	
6	下内川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		R1	
7	長木川	北秋田	大館市	○	R1. 7. 23		R1	
8	犀川	北秋田	大館市	○	R3. 6. 11		R4	
9	綴子川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		R3	
10	小猿部川	北秋田	北秋田市	○	R1. 7. 12		R3	
11	阿仁川	北秋田	北秋田市	○	R2. 1. 31		R3	
	阿仁川	山本	能代市				R2	
12	小阿仁川	北秋田	北秋田市	○	R2. 1. 31		R3	
	小阿仁川	北秋田	上小阿仁村				R3	
13	藤琴川	山本	藤里町	○	R1. 9. 2		R1	
	藤琴川	山本	能代市				R2	
14	三種川	山本	三種町	○	H31. 3. 22		H30	
15	太平川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3-4	
16	岩見川	秋田	秋田市	○	R2. 7. 10		R3-4	
17	旭川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3-4	
18	草生津川	秋田	秋田市	○	R2. 7. 10		R3-4	
19	猿田川	秋田	秋田市	○	R2. 5. 15		R3-4	
20	新城川	秋田	秋田市	○	R1. 8. 6		R3-4	
21	馬場目川	秋田	五城目町	○	R2. 7. 10		R2	
	馬場目川	秋田	八郎潟町				R3	
	馬場目川	秋田	井川町				R3	
22	芋川	由利	由利本荘市	○	R1. 9. 13		R2	
23	白雪川	由利	にかほ市	○	R3. 6. 11		R4	
24	川口川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
25	窪堰川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
26	齊内川	仙北	大仙市	○	R2. 7. 10		R3	
27	矢島川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
	矢島川	仙北	美郷町				R3	
28	丸子川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
	丸子川	仙北	美郷町				R3	
29	福部内川	仙北	大仙市	○	R1. 8. 9		R3	
	福部内川	仙北	美郷町				R3	
30	玉川	仙北	大仙市	○	R2. 7. 31		R3	
	玉川	仙北	仙北市				R3	
31	桧木内川	仙北	仙北市	○	R2. 7. 31		R3	
32	入見内川	仙北	仙北市	○	R3. 6. 11		R3	
33	横手川	平鹿	横手市	○	R1. 11. 29		R2	
	横手川	平鹿	大仙市				R2	
	横手川	平鹿	美郷町				R3	
34	役内川	雄勝	湯沢市	○	R1. 9. 27		R1	
				34	34			

県管理「河川最大規模浸水想定区域」公表状況 (令和4年度以降予定)

NO	河川名	管内	市町村	浸华图作成	告示 (R3迄)	告示 (R4以降)	HM作成	備考
35	檜山川	山本	能代市	○		R4. 6. 30	R5予定	
36	上溝川	平鹿	横手市	○		R4. 6. 30	R5予定	
37	雄物川 (指定区間)	雄勝	湯沢市	○		R4. 6. 30	R5予定	
38	新波川	秋田	秋田市	R4		R5 (予定)	R6予定	
39	馬踏川	秋田	秋田市	R4		R5 (予定)	R6予定	
40	大沢川	仙北	大仙市	R5 (予定)		R6 (予定)	R7予定	

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組（継続実施）（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンやタブレットで、リアルタイムの河川画像にダイレクトにアクセス可能

■マップのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ることでリアルタイムの河川画像などが見れます。

⇒ 県広報紙「あきたびじょん」R3・4月号で全戸配布済
※美の国秋田ネットからも確認、ダウンロードできます。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48409>

■令和3年4月運用開始
「秋田県河川砂防情報システムHP」をスマートフォン対応へ更新しました。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/sp/>



更新



防災情報 保存版 スマートフォンから簡単アクセス!
地域別 河川監視カメラ ダイレクトマップ

QRコードを読み込むと、その地域の河川に設置されているカメラ画像にアクセスできます。このマップは、河川監視カメラが設置されている地域を掲載しています。※印が付いている河川は、令和3年4月ごろ画像を公開予定

QRコードを読み込んで河川のの様子をみましょう。いざというときに備えて、画面をブックマークしておくとう便利です。(最新の情報を確認する際は、サイトを再度読み込んでください)

ご利用方法 1 QRコードを読み込む 2 アクセスしたい河川(画面上)をタップ 3 カメラ画像へアクセス

大館市 米代川・長木川・下内川・厚川

鹿角・小坂地域 米代川・福士川・熊沢川・大瀧川・小坂川

能代・山本地域 藤野川・三穂川・楡山川

秋田市(北部)・南秋地域 馬場目川・馬場川・新橋川・草生津川

秋田市(北部以外) 旭川・猿田川・太平川・岩見川・新渡川

由利本荘・にかほ地域 子吉川・翠川・石沢川・台雪川

湯沢市 役内川・雄物川

仙北市 玉川・楠木内川・入見内川

大仙・美郷地域 丸平川・福部内川・磐城川・川口川・玉川・青内川・矢島川・大沢川

横手市 横手川・上瀧川

県内を流れる重要管理河川(米代川、雄物川、子吉川)の防災に役立つ情報を、県土交通局が提供する「川の防災情報」をご覧ください。

防災情報 保存版 ちは、どうなの!?
水害と土砂災害のリスク

自宅や学校、職場など、あなたの生活圏の危険性を平常時から確認し、避難行動について考えておきましょう。

水害 洪水が想定される範囲を確認できます。洪水が想定される範囲を確認できます。洪水が想定される範囲を確認できます。洪水が想定される範囲を確認できます。

土砂災害 土砂災害のリスクを確認できます。土砂災害のリスクを確認できます。土砂災害のリスクを確認できます。土砂災害のリスクを確認できます。

防災情報 保存版 避難に役立つ 河川・土砂災害情報
豪雨や洪水に、今から備えを

あなたや家族の命を守るために。普段からの「備え」や「心掛け」が、いざというときに立ちます。

近年、豪雨や洪水が頻発。全国的に大雨による洪水などの自然災害が、毎年のように起きています。秋田県においても平成29年7月や令和3年5月に発生した豪雨による河川の氾濫や浸水により、大きな被害がありました。

自らの判断で避難行動を。こうした水害から身を守るためには、一人ひとりが「自らの命は自ら守る」という意識を持ち、早めの避難行動をとることが大切です。今、特別編集1～4ページに水害や土砂災害の避難に役立つ情報をまとめたので「保存版」として活用ください。

お近くの河川がどのような状態か、パソコンやスマートフォンなどで確認できます。

こんな情報を配信しています!

雨量や水位の上昇状況がグラフで分かる。河川の現在の様子が見られる。河川監視カメラがリアルタイムで撮影された画像がリアルタイムで配信されています。河川監視カメラがリアルタイムで撮影された画像がリアルタイムで配信されています。

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

気象台・県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

○気象防災ワークショップでは、洪水災害あるいは土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を参照しながら少人数でのグループワークを行い、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただきました。

ワークショップを通じて、各種の防災気象情報を理解し、有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングなどを検討することによって、判断のポイントを学ぶことができます。今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

○地方公共団体等の防災対策協力・支援として、引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

■最近の取組み

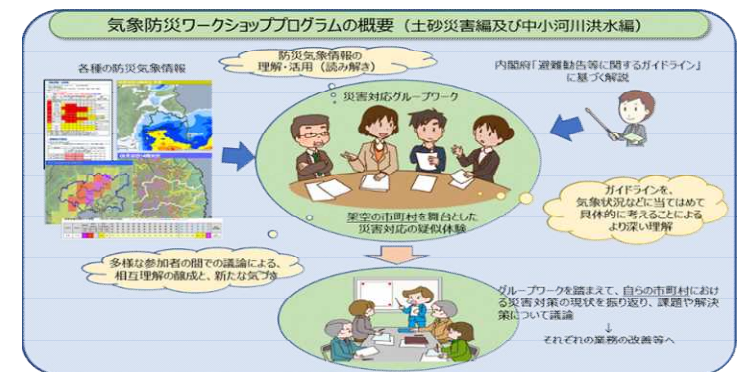
- ・令和2年6月26日
秋田県庁で開催。10市町村5地域振興局22名が参加（風水害編）
- ・令和2年10月9日
秋田県庁で開催。7市町村5地域振興局16名が参加（風水害編）
- ・令和3年7月6日
秋田県庁で開催。16市町村6地域振興局39名が参加
（Web形式・防災気象情報の活用と避難行動を促す情報伝達）



令和3年度ワークショップ（Web形式）開催状況

■令和4年度の取組み

- 令和4年6月27日秋田地方気象台においてWeb形式で開催予定。
（19市町村6地域振興局37名が参加予定）
- ・防災気象情報に応じた避難情報の発令を迅速に検討・判断する
- ・避難行動を促すための情報伝達



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた
 迅速な情報発信と避難の誘導

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）
○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、日本防災士会秋田県支部と連携し、防災士を「防災アドバイザー」（以下「アドバイザー」という。）として派遣し、地域できめ細かなアドバイスをを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

1 アドバイザーの業務

- ・ 自主防災組織の運営に関すること。
- ・ 日常的な防災活動に関すること。
- ・ 災害対応力の向上に関すること。
- ・ 防災知識の普及及び啓発に関すること。

2 令和4年度の実施状況

派遣回数：7回（令和4年度6月末現在）

○内容

- ・ 防災意識の普及啓発
- ・ 自主防災組織の運営・活動支援
- ・ 避難誘導・救助
- ・ 要援護者への対応
- ・ D I G（災害図上訓練）
- ・ H U G（避難所運営ゲーム）

【参考】これまでの派遣実績

- ・ 令和3年度派遣回数：12回
（新型コロナウイルス感染症拡大により申込みが減少）
- ・ 令和2年度派遣回数：13回
（新型コロナウイルス感染症拡大により申込みが減少）
- ・ 令和元年度派遣回数：41回
- ・ 平成30年度派遣回数：23回



防災士による講演状況



防災備蓄食料品取扱訓練状況

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組(継続実施)

- ・重要水防箇所の合同巡視 ⇨ 重要水防箇所や水防資機材の共同確認

洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施。



猿田川（秋田市）



横手川（横手市）



丸子川（美郷町）



田沢川（羽後町）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

秋田県・市町村

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組（継続実施）

- ・水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 水防資機材の共同確認

事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保。



水防倉庫：雄勝建設部



水防倉庫：平鹿建設部

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組（継続実施）

・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するための訓練を実施。



■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

国・秋田県・市町村

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組（継続実施）

・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するため関係機関の合同訓練を実施。



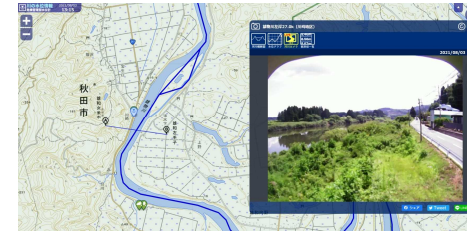
訓練状況写真：古川（秋田市）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 ⇨ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 ⇨プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
 ⇨河川監視カメラの運用（全41基）【実施】



河川監視カメラの表示イメージ
（左：PC画面、右：スマートフォン）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 ⇨秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視
 ⇨関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施



R元重要水防箇所の合同点検（秋田市）

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
 ⇨ダム事前放流実施要領【継続】
 ⇨玉川ダム・鎧畑ダム連携協定の締結（R3.6.8締結）

洪水時及び平常時における、より効率的な情報提供や住民周知
 治水・利水の一体的かつ総合的なダム運用
 玉川ダム・鎧畑ダム連携強化推進室の設置



玉川ダム・鎧畑ダム連携協定 締結式

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ 排水ポンプ車操作訓練の実施【継続】
- ・ 排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
 - ⇒ 長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成【関係市町へ情報提供済】【継続】
 - ⇒ 緊急排水計画位置における排水ポンプ車等の設置訓練【新規】【実施】

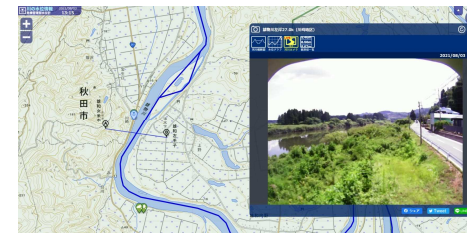


緊急排水計画（案）のイメージ

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
 - ⇒
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
 - ⇒河川監視カメラの運用（全41基）【継続】



河川監視カメラの表示イメージ
（左：PC画面、右：スマートフォン）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視
 - ⇒関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施



R元重要水防箇所の合同点検（秋田市）

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
 - ⇒ダム事前放流実施要領【継続】
 - ⇒玉川ダム・鎧畑ダム連携協定の締結（R3.6.8締結）

玉川ダムから鎧畑ダムの遠隔操作化に向けた光ファイバー接続

洪水時及び平常時における、より効率的な情報提供や住民周知【継続】

治水・利水の一体的かつ総合的なダム運用【継続】



玉川ダム・鎧畑ダム連携協定 締結式

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒排水ポンプ車操作訓練の実施【継続】
- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
 - ⇒長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成【関係市町へ情報提供済（訓練を通してリバイス）】【継続】



緊急排水計画(案)のイメージ

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） 堤防整備 三種川（山本郡三種町）

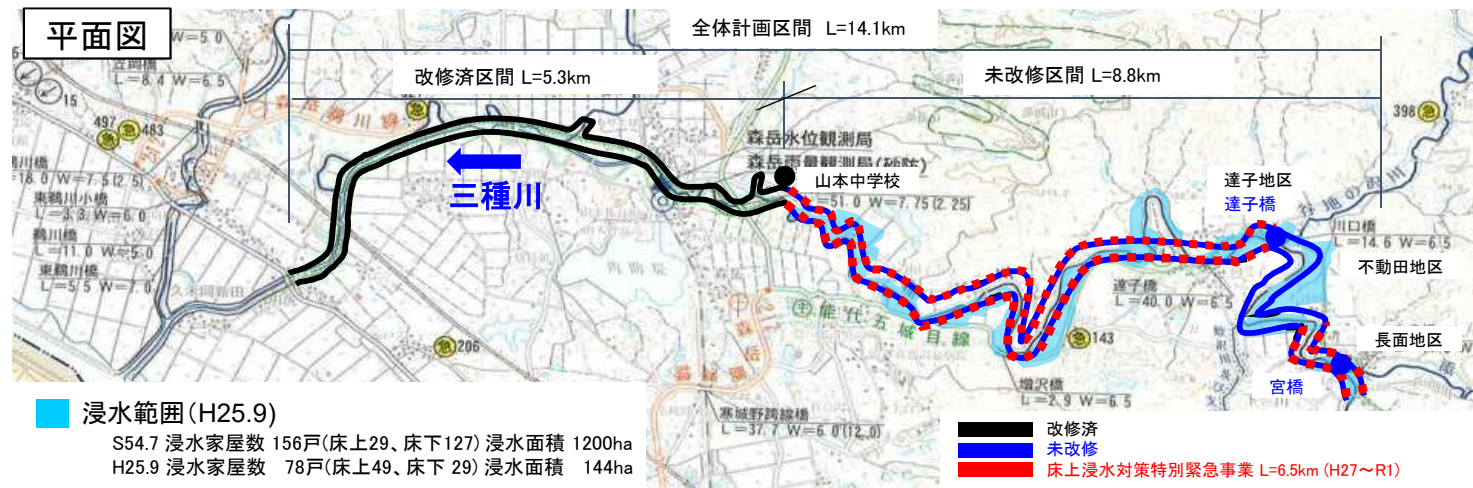
秋田県

三種川中流部（山本中学校）から上流部（長面地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。

位置図



平面図

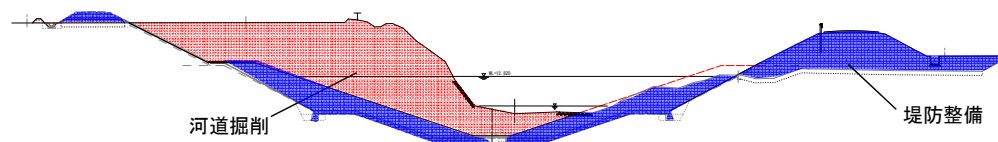


過去の被害状況



参考横断面図(河川対策イメージ)

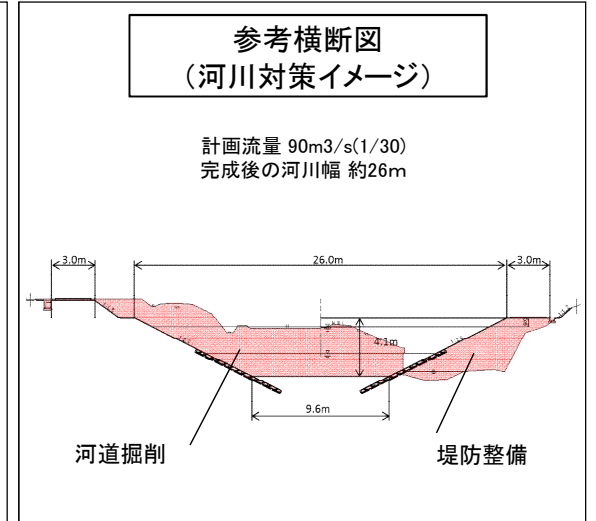
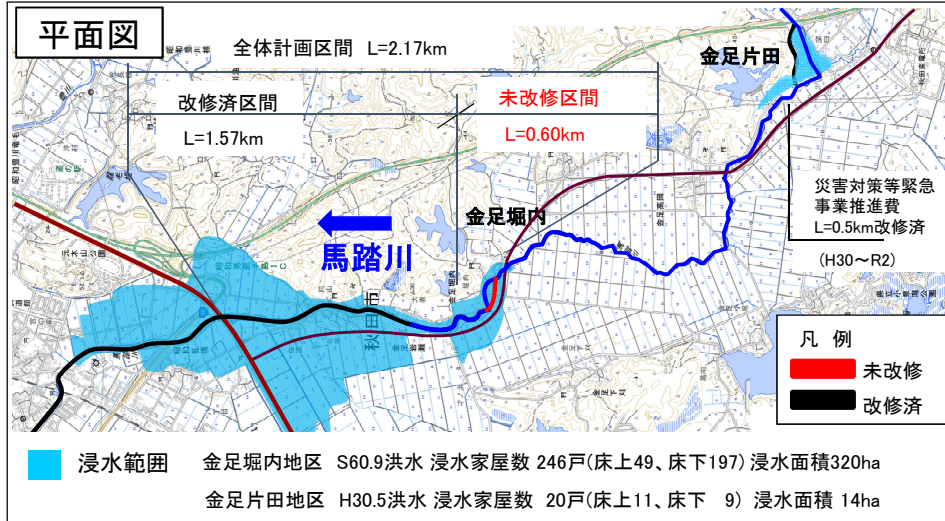
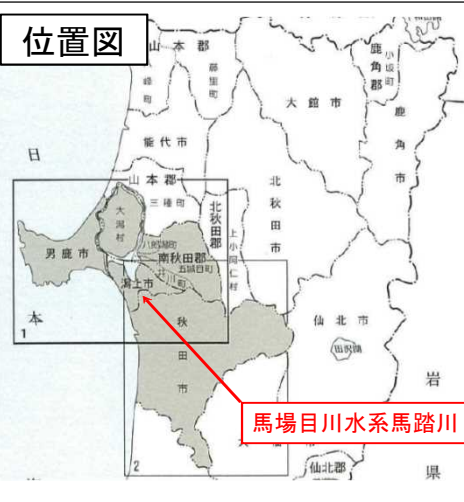
計画流量 280m³/s(1/10) 完成後の河川幅 約36m



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） 堤防整備 馬踏川（秋田市）

馬踏川中流部（秋田市金足堀内地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。



過去の被害状況



■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） 河道掘削 馬場目川水系 県管理河川（継続実施）

秋田県

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。

■ 馬場目川 五城目町大川地区 河道掘削、伐木



対策後



■ 赤沢川 井川町赤沢地区 河道掘削、伐木



対策後



国・県・市町村

■ハード対策 【参考資料】 田んぼダムの推進について

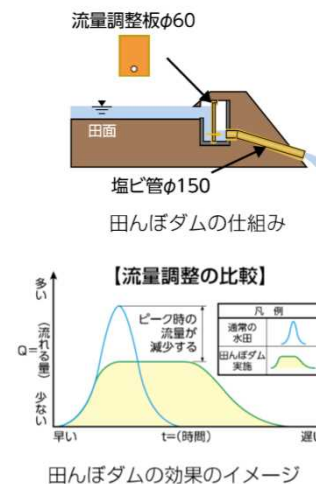
○洪水氾濫を軽減するためのハード対策（水田貯留）継続実施


 豪雨による農地や住宅地の被害
 （大仙市 R2）

近年、県内外において集中豪雨等による災害が頻発化していることから、流域治水対策の一つとして「田んぼダム」の取組が注目されています。本県では、これまで水田の多面的機能維持の活動として、数地域において田んぼダムの取組が行われてきましたが、今後の更なる普及・拡大に向けて、モデル地区を設置し、田んぼダムの効果や課題等の検証を開始しました。

（1）実証モデル地区の設置

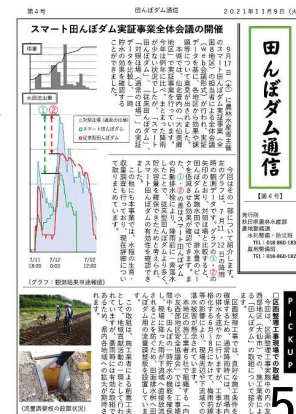
県内のほ場整備実施中の10地区において、流量調整板等を用いた従来型田んぼダムの実証田を設置し、効果や課題等を検証しています。また、実証モデル地区のうち、大仙美郷地域において、従来型田んぼダムに加え、自動給排水システムを用いたスマート田んぼダムの実証田を設置し、雨水貯留効果を比較・検証するほか、水稻の生育・収量調査等を行い、営農への影響についても確認しています。



（2）田んぼダムの普及・拡大に向けた取組

県では、田んぼダム実証モデル地区の関係者が取組状況や効果・課題等について話し合う意見交換会を開催しています。出席者からは、「田んぼダムによる一時貯留の効果を確認できた」との意見や「貯水により畦畔の一部が崩れた」などの課題が挙げられました。

また、実証状況や取組農家の声などを掲載した「田んぼダム通信」を発行しています。田んぼダムの取組には、農家の合意形成が不可欠であることから、県では引き続き、効果や課題を調査するとともに、河川管理者や市町村、土地改良区等との連携のもと、調査結果や先進事例、支援措置などを紹介し、農家の理解を得ながら、田んぼダムの普及に努めています。



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

洪水時における避難情報の発令や地域住民の的確な避難を促すよう、従来型水位計に加え、危機管理型水位計及び河川監視カメラを設置し、リアルタイムの水位、河川状況画像、雨量情報をインターネットに公表、情報提供を図る。

・データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>

県管理河川振興局別
危機管理型水位計設置数

振興局	河川数	設置基数
鹿角	15	21
北秋田	32	40
山本	13	14
秋田	27	37
由利	15	18
仙北	22	25
平鹿	8	8
雄勝	22	25
重複河川控除	-5	
計	149	188

県管理河川振興局別
簡易型河川監視カメラ設置数

振興局	河川数	設置基数
鹿角	5	6
北秋田	8	8
山本	3	4
秋田	9	9
由利	4	8
仙北	10	14
平鹿	2	4
雄勝	2	3
重複河川控除	-1	
計	42	56

河川監視カメラ設置状況
（馬場目川 五城目町馬場目中屋敷地区 中屋敷橋）



馬場目川 中屋敷橋（五城目町）



日時	07/29 24 : 00
水位	---[m]
警報状態	観測開始水位未滿

秋田県河川砂防情報システムによるリアルタイム情報の提供

秋田県 河川砂防情報システム

表示時刻 自動更新

TOP データ種別 | 雨量 | 水位 | 危機管理型水位 | 河川カメラ | ダム |

表示形式 | 状況図 | 現況表 | 一覧表 | ミニグラフ | 日降雨量表 |

★メニュー

- 全流域観測情報【状況図】>
- 全流域観測情報【現況表】>
- 気象情報>
- 洪水予報発表情報>
- 水防警報・水位到達情報
- 警報文登録
- 帳票印字>

雨量状況図（秋田地域振興局） 2021年07月12日13時00分 現在

アイコンリンク先設定 ● グラフ ○ 警報履歴 ○ 雨量日集計値表

凡例

- 警戒値超過
- 注意値超過

危険管理型水位グラフ

河川名	観測地点	観測時刻	水位(m)	警戒値(m)	注意値(m)
馬場目川	中屋敷橋	07/29 24:00	---	0.00	0.00
馬踏川	金足堀内	07/30 13:00	-0.29	0.00	0.00

現在、観測しています

観測データ（07/10 11:00-07/11 10:00）

月/日	時	雨量(mm)	水位(m)		
07/10	11:00	0.0	0.0		
	12:00	0.0	0.0		
	13:00	0.0	0.0		
	14:00	0.0	0.0		
	15:00	0.0	0.0		
	16:00	0.0	0.0		
	17:00	0.0	0.0		
	18:00	0.0	0.0		
	19:00	0.0	0.0		
	20:00	0.0	0.0		
	21:00	0.0	0.0		
	22:00	0.0	0.0		
	07/11	00:00	0.0	0.0	
		01:00	0.0	0.0	
		02:00	0.0	0.0	
		03:00	0.0	0.0	
		04:00	0.0	0.0	
		05:00	0.0	0.0	
		06:00	0.0	0.0	
		07:00	0.0	0.0	
		08:00	0.0	0.0	
		09:00	0.0	0.0	
		10:00	0.0	0.0	
		07/12	00:00	0.0	0.0
01:00			0.0	0.0	
02:00			0.0	0.0	
03:00			0.0	0.0	
04:00			0.0	0.0	
05:00			0.0	0.0	
06:00			0.0	0.0	
07:00			0.0	0.0	
08:00			0.0	0.0	
09:00			0.0	0.0	
10:00			0.0	0.0	
07/13			00:00	0.0	0.0
			01:00	0.0	0.0
	02:00		0.0	0.0	
	03:00		0.0	0.0	
	04:00		0.0	0.0	
	05:00		0.0	0.0	
	06:00		0.0	0.0	
	07:00		0.0	0.0	
	08:00		0.0	0.0	
	09:00		0.0	0.0	
	10:00		0.0	0.0	

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○迅速かつ確実な避難に関する取組（継続実施）（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンやタブレットで、リアルタイムの河川画像にダイレクトにアクセス可能

■マップのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ることでリアルタイムの河川画像などが見れます。

⇒ 県広報紙「あきたびじょん」R3・4月号で全戸配布済
※美の国秋田ネットからも確認、ダウンロードできます。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48409>

■令和3年4月運用開始
「秋田県河川砂防情報システムHP」をスマートフォン対応へ更新しました。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/sp/>



更新



防災情報 保存版 スマートフォンから簡単アクセス!
地域別 河川監視カメラ ダイレクトマップ

QRコードを読み込むと、その地域の河川に設置されているカメラ画像にアクセスできます。このマップは、河川監視カメラが設置されている地域を掲載しています。※印が付いている河川は、令和3年4月ごろ画像を公開予定

QRコードを読み込んで河川のの様子を見ましょう。いざというときに備えて、画面をブックマークしておくとう便利です。(最新の情報を確認する際は、サイトを再度読み込んでください)

ご利用方法

- 1 QRコードを読み込む
- 2 アクセスしたい河川(箇所名)をタップ
- 3 カメラ画像へアクセス

大館市
米代川・長木川・下内川・厚川

鹿角・小坂地域
米代川・福士川・熊沢川・大湯川・小坂川

能代・山本地域
藤等川・三穂川・楡山川

秋田市(北部)・南秋地域
馬場目川・馬駒川・新城川・草生津川

秋田市(北部以外)
旭川・猿田川・太平川・岩見川・新渡川

由利本荘・にかほ地域
子吉川・翠川・石沢川・台雪川

湯沢市
役内川・雄物川

仙北市
玉川・樺木内川・入見内川

大仙・美郷地域
丸平川・福部内川・磐塚川・川口川・玉川・青内川・矢島川・大沢川

横手市
樺平川・上瀬川

県内を流れる重要管理河川(米代川、雄物川、子吉川)の防災に役立つ情報を、県土産産が提供する「川の防災情報」をご覧ください。

防災情報 保存版 ちは、どうなの!?
水害と土砂災害のリスク

自宅や学校、職場など、あなたの生活圏の危険性を平常時から確認し、避難行動について考えておきましょう。

水害
洪水が想定される範囲を確認できます。洪水が想定される範囲を確認できます。河川が氾濫した場合に洪水が想定される範囲や、浸水した場合は、浸水した範囲や、浸水した範囲を確認することができます。河川が氾濫した場合に洪水が想定される範囲や、浸水した場合は、浸水した範囲を確認することができます。

土砂災害
土砂災害のリスクを確認できます。土砂災害のリスクを確認できます。土砂災害のリスクを確認できます。土砂災害のリスクを確認できます。

防災情報 保存版 避難に役立つ 河川・土砂災害情報
豪雨や洪水に、今から備えを

あなたや家族の命を守るために——。普段からの「備え」や「心掛け」が、いざというときに立ちます。

近年、豪雨や洪水が頻発
全国的に大雨による洪水などの自然災害が、毎年のように起きています。秋田県においても平成29年7月や令和3年5月に発生した豪雨による河川の氾濫や浸水により、大きな被害がありました。

自らの判断で避難行動を
こうした水害から身を守るためには、一人ひとりが「自らの命は自ら守る」という意識を持ち、早めの避難行動をとることが大切です。今、特別編集1～4ページに水害や土砂災害の避難に役立つ情報をまとめたので「保存版」として活用ください。

お近くの河川がどのような状態か、パソコンやスマートフォンなどで確認できます

このページに、県内各所の河川監視カメラの最新アクセス方法をQRコードで掲載しています。

こんな情報を配信しています!

- 河川の現在の水位が分かる
- 河川監視カメラは、16月147カ所に設置されています。(令和3年1月現在)
- 今後新たに7カ所にカメラを設置予定。
- 河川の水位が分かる
- 河川の水位が分かる

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

■要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施（継続実施）

・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

⇒ 講習会プロジェクトの取組 ※市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象

洪水・土砂災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指し、平成30年から講習会プロジェクトを継続して実施

■各市町村の取り組み事例

令和2年度の講習会プロジェクト

・三種町（R2.12.22）、小坂町（R2.12.23）で実施



令和3年度の講習会プロジェクト

五城目町（R3.12.16）、上小阿仁村（R3.12.17）で実施



■令和3年度の講習会プロジェクト実施予定 八郎潟町

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

気象台・県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

○気象防災ワークショップでは、洪水災害あるいは土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を参照しながら少人数でのグループワークを行い、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただきました。

ワークショップを通じて、各種の防災気象情報を理解し、有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングなどを検討することによって、判断のポイントを学ぶことができます。今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

○地方公共団体等の防災対策協力・支援として、引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

■最近の取組み

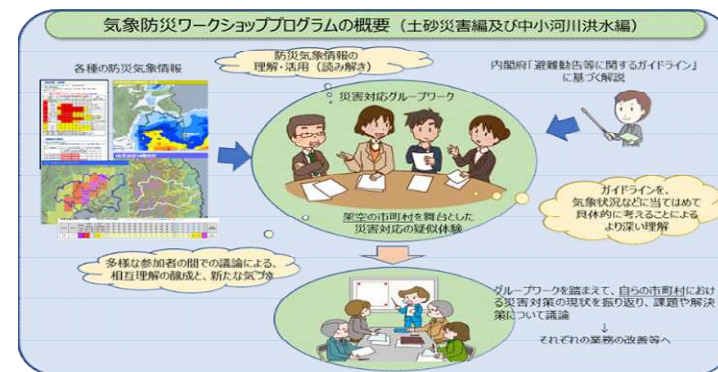
- ・ 令和2年6月26日
秋田県庁で開催。10市町村5地域振興局22名が参加（風水害編）
- ・ 令和2年10月9日
秋田県庁で開催。7市町村5地域振興局16名が参加（風水害編）
- ・ 令和3年7月6日
秋田県庁で開催。16市町村6地域振興局39名が参加
（Web形式・防災気象情報の活用と避難行動を促す情報伝達）

令和3年度ワークショップ（Web形式）開催状況



■令和4年度の取組み

- 令和4年6月27日秋田地方気象台においてWeb形式で開催予定。
（19市町村6地域振興局37名が参加予定）
- ・ 防災気象情報に応じた避難情報の発令を迅速に検討・判断する
- ・ 避難行動を促すための情報伝達



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）
○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、日本防災士会秋田県支部と連携し、防災士を「防災アドバイザー」（以下「アドバイザー」という。）として派遣し、地域できめ細かなアドバイスをを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

1 アドバイザーの業務

- ・ 自主防災組織の運営に関すること。
- ・ 日常的な防災活動に関すること。
- ・ 災害対応力の向上に関すること。
- ・ 防災知識の普及及び啓発に関すること。

2 令和4年度の実施状況

派遣回数：7回（令和4年度6月末現在）

○内容

- ・ 防災意識の普及啓発
- ・ 自主防災組織の運営・活動支援
- ・ 避難誘導・救助
- ・ 要援護者への対応
- ・ D I G（災害図上訓練）
- ・ H U G（避難所運営ゲーム）

【参考】これまでの派遣実績

- ・ 令和3年度派遣回数：12回
（新型コロナウイルス感染症拡大により申込みが減少）
- ・ 令和2年度派遣回数：13回
（新型コロナウイルス感染症拡大により申込みが減少）
- ・ 令和元年度派遣回数：41回
- ・ 平成30年度派遣回数：23回



防災士による講演状況



防災備蓄食料品取扱訓練状況

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒実践的な防災訓練を実施し、災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図る。

■各市町村の取組事例



■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化**■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組(継続実施)**

- ・重要水防箇所の合同巡視 ⇨ 重要水防箇所や水防資機材の共同確認

洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施。



■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

秋田県・市町村

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組（継続実施）

- ・水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 水防資機材の共同確認

事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保。



■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組（継続実施）

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するための訓練を実施。



県北配備【排水ポンプ車】



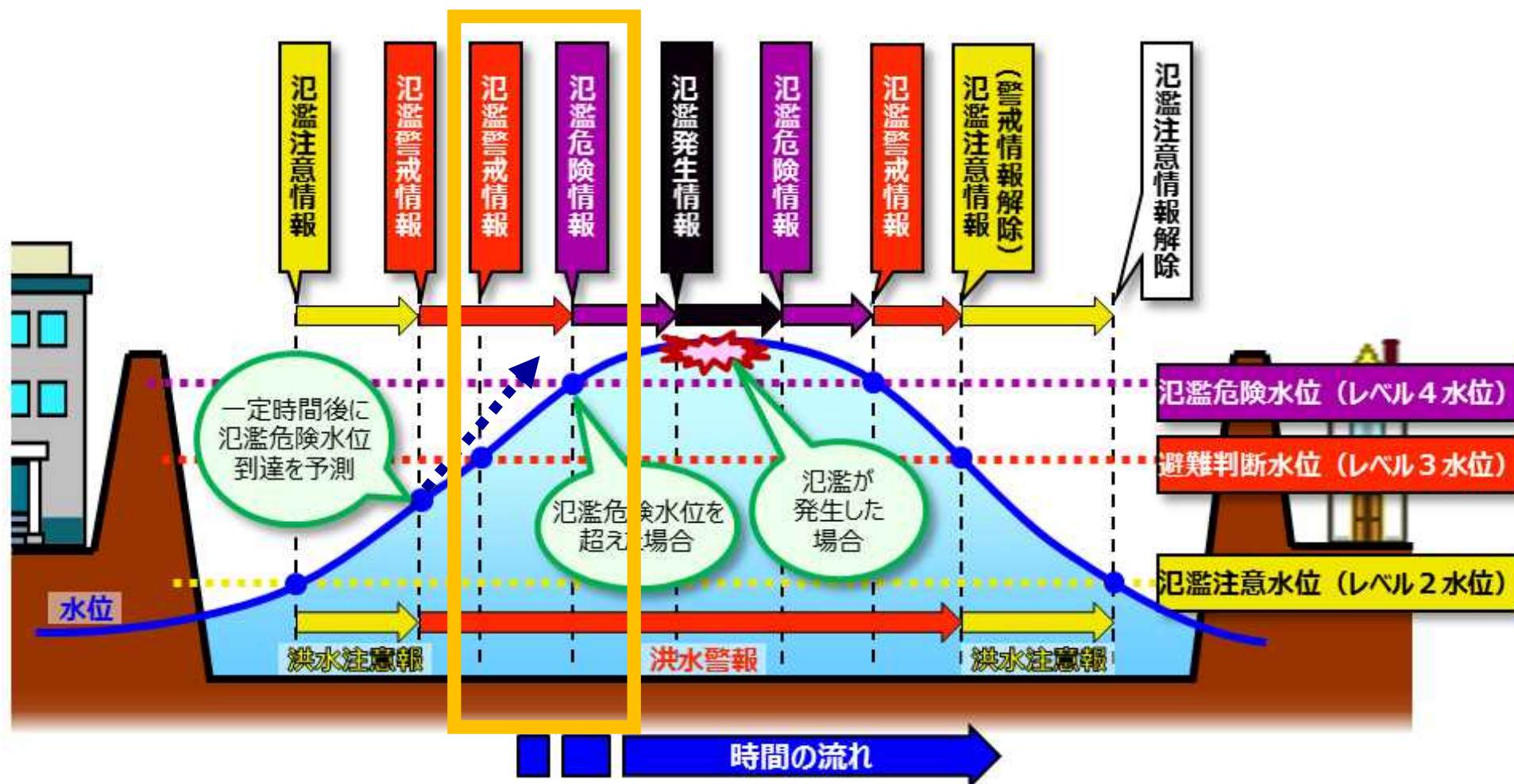
洪水予報の種類等と発表基準

種類	情報名	発表基準
「洪水警報（発表）」 又は 「洪水警報」	「氾濫発生情報」 又は 「氾濫発生情報（氾濫水の予報）」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氾濫が発生したとき ・ 氾濫が継続しているとき
	「氾濫危険情報」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれるとき ・ 氾濫危険水位に到達したとき ・ 氾濫危険水位を超える状態が継続しているとき
	「氾濫警戒情報」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氾濫危険水位に到達すると見込まれるとき ・ 避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき ・ 氾濫危険情報を発表中に、氾濫危険水位を下回ったとき（避難判断水位を下回った場合を除く） ・ 避難判断水位を超える状態が継続しているとき（水位の上昇の可能性がなくなった場合を除く）
「洪水注意報（発表）」 又は 「洪水注意報」	「氾濫注意情報」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき ・ 氾濫注意水位以上で、かつ避難判断水位未満の状態が継続しているとき ・ 避難判断水位に到達したが、水位の上昇が見込まれないとき
「洪水注意報（警報解除）」	「氾濫注意情報（警戒情報解除）」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氾濫危険情報又は氾濫警戒情報を発表中に、避難判断水位を下回った場合（氾濫注意水位を下回った場合を除く） ・ 氾濫警戒情報発表中に、水位の上昇が見込まれなくなったとき（氾濫危険水位に達した場合を除く）
「洪水注意報解除」	「氾濫注意情報解除」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氾濫発生情報、氾濫危険情報、氾濫警戒情報又は氾濫注意情報を発表中に、氾濫注意水位を下回り、氾濫のおそれなくなったとき

国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

現在

実況水位が氾濫危険水位に到達した場合に、
氾濫危険情報（警戒レベル4相当；避難指示の目安）を発表



国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

改善後

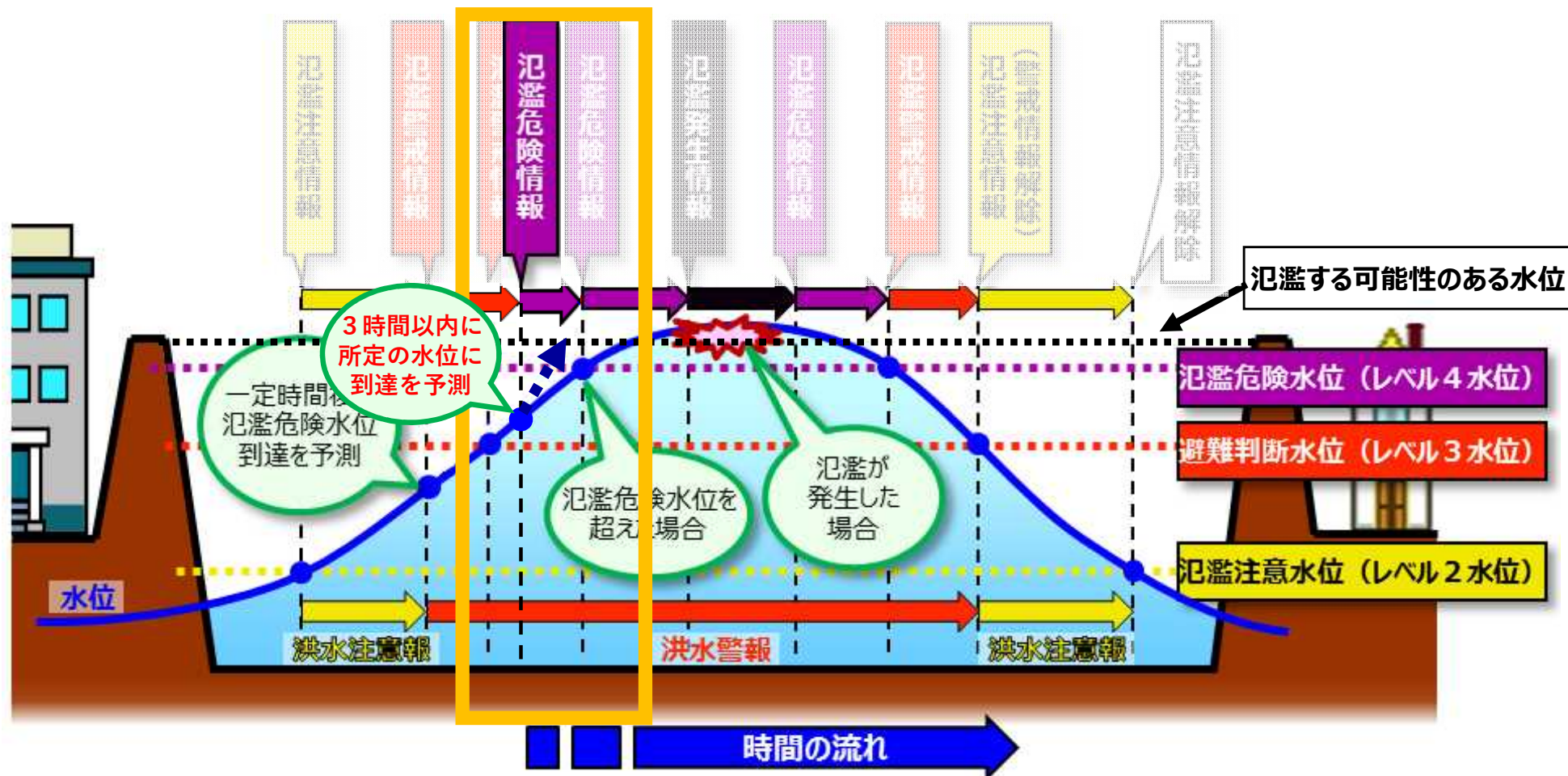
従来の運用に加えて

3時間先までの予測水位が、氾濫する可能性のある水位に到達した場合に、

氾濫危険情報（警戒レベル4相当；避難指示の目安）を発表

これにより、氾濫危険水位の設定時に考慮した条件を上回る急激な水位上昇に対応し、

これまでの運用より早い段階から警戒を呼びかけることが可能になる。



国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

- 【予測による発表であることが確認できるか】
予測水位による発表であることは、主文に「今後、氾濫危険水位を超過する見込みです。」と記載されることで確認できます。
- 【予測に基づいて氾濫危険情報を発表後に、実況水位が氾濫危険水位に到達した場合はどうなるのか】
予測に基づいて氾濫危険情報を発表した後に、実況水位が氾濫危険水位に到達した場合は、情報過多を避けるため、改めて氾濫危険水位に到達した氾濫危険情報を発表することはありません。

国が行う洪水予報の運用変更（氾濫危険情報の発表前倒し）について

予測に基づく氾濫危険情報は、新しい見出し及び主文で発表されます。

見出し

【警戒レベル4相当情報 [洪水]】〇〇川では、急激な水位の上昇により、氾濫のおそれあり

主文

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市〇〇）では、急激な水位の上昇により、今後、氾濫危険水位を超過する見込みです。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

今回、追加された発表基準

予測水位による発表であることが確認できる

正規

ろっかくがわ
六角川氾濫危険情報

六角川洪水予報第11号
洪水警報
令和3年08月14日17時40分

あほまかきんじしよ きがをもちますたうだい
武雄河川事務所 佐賀地方気象台 共同発表

(見出し)

【警戒レベル4相当情報 [洪水]】ろっかくがわ六角川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み

(主文)

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。ろっかくがわ しおきほし六角川の潮見橋水位観測所（たけあし武雄市）では、当分の間、「氾濫危険水位」付近の水位が続く見込みです。ろっかくがわ六角川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、武雄市、嬉野市、杵島郡大町町、杵島郡江北町、杵島郡白石町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

(雨量)

多いところで1時間に60ミリの雨が降っています。
この雨は今後次第に弱まるでしょう。

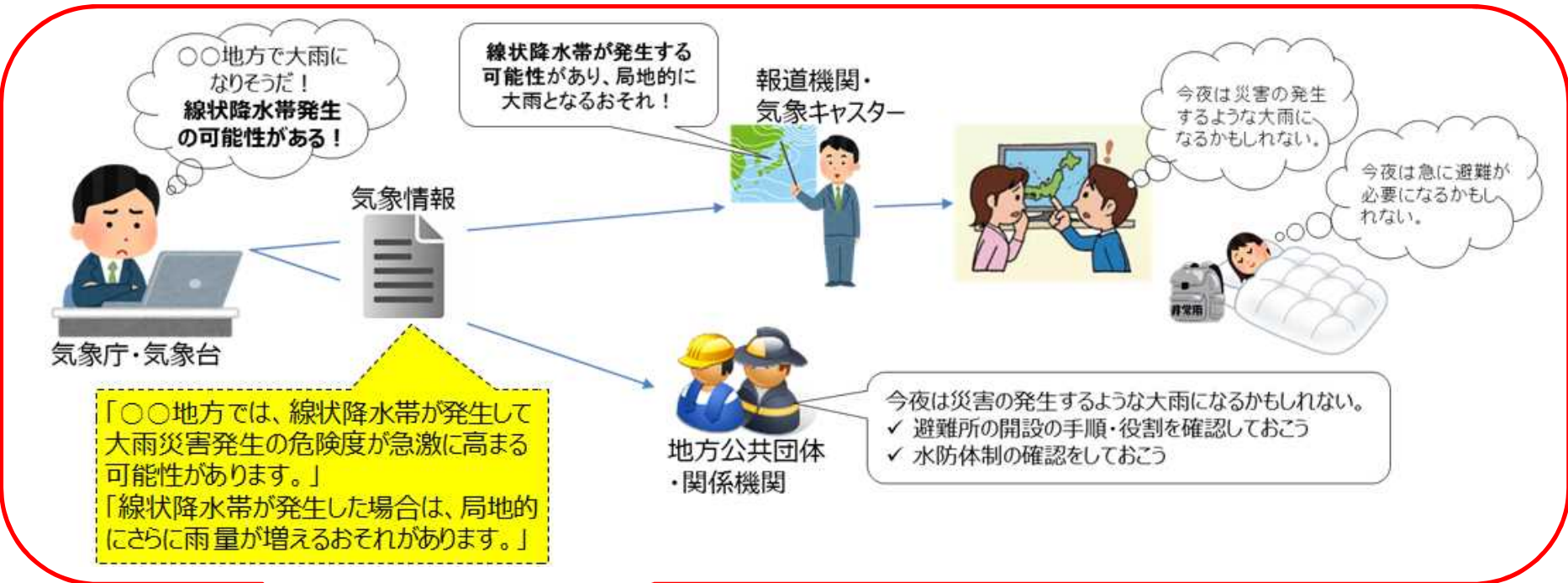
13日17時30分~14日17時30分	14日17時30分~14日20時30分
---------------------	---------------------

線状降水帯による大雨の 半日程度前からの呼びかけ

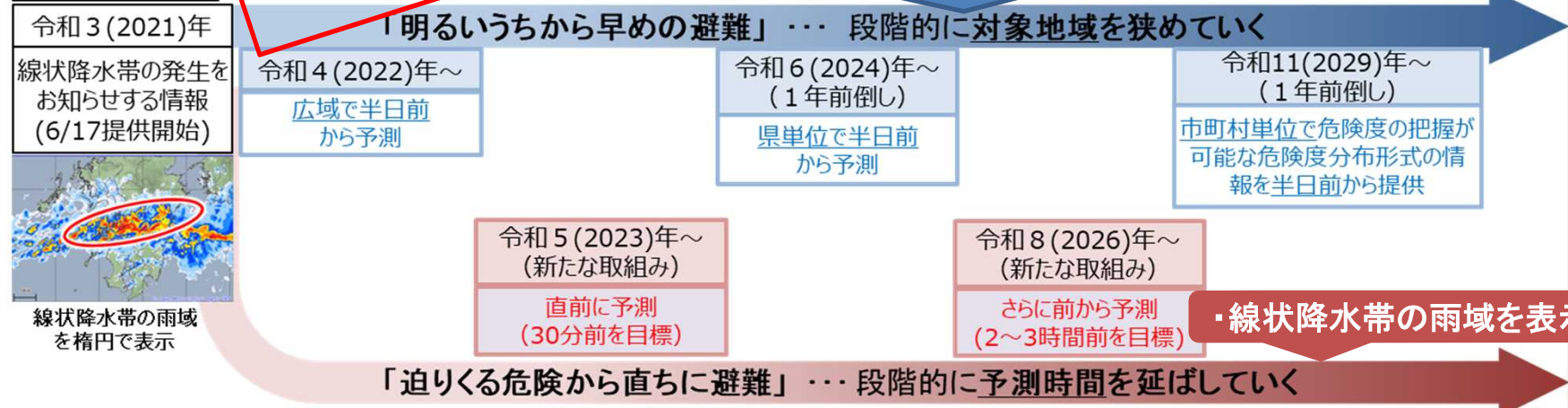
秋田地方気象台

線状降水帯による大雨の可能性を半日前からお伝えします

令和4年
6月1日～



情報の改善



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

線状降水帯による大雨の可能性を半日前からお伝えします

- 令和4年6月1日から、「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性が程度高い場合に、「気象情報」において、半日程度前から**地方予報区単位等**で呼びかけ、情報の充実をはかります。 ※地方予報区：全国を11ブロックに分けた地域
- 警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表します。

大雨に関する〇〇地方気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇時〇分 〇〇气象台発表

<見出し>

〇〇地方では、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

… (中略) …

[量的予想]

<雨の予想>

〇日〇時から〇日〇時まで予想される24時間降雨量は、いずれも多い所で、

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

〇〇県 〇ミリ

の見込みです。

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

… (中略) …

[補足事項]

今後発表する防災気象情報に留意してください。

次の「大雨に関する〇〇地方気象情報」は、〇日〇時頃に発表する予定です。

大雨が予想される際に発表される気象情報に、線状降水帯発生の可能性に言及するフレーズを挿入

※ 府県気象情報においては、〇〇県では、という表記になります。

※ 全般気象情報においては、「大雨に関する全般気象情報」のほか、「台風第〇号に関する情報」というタイトルで発表されることもあります。

予想雨量と併せて、線状降水帯が発生した場合にはさらに状況が悪くなる可能性があることを伝える

線状降水帯による大雨の可能性が発表されたとき

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。
- **市町村**の防災担当の皆さまには、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えていただくことが考えられます。
- **住民**の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。

